

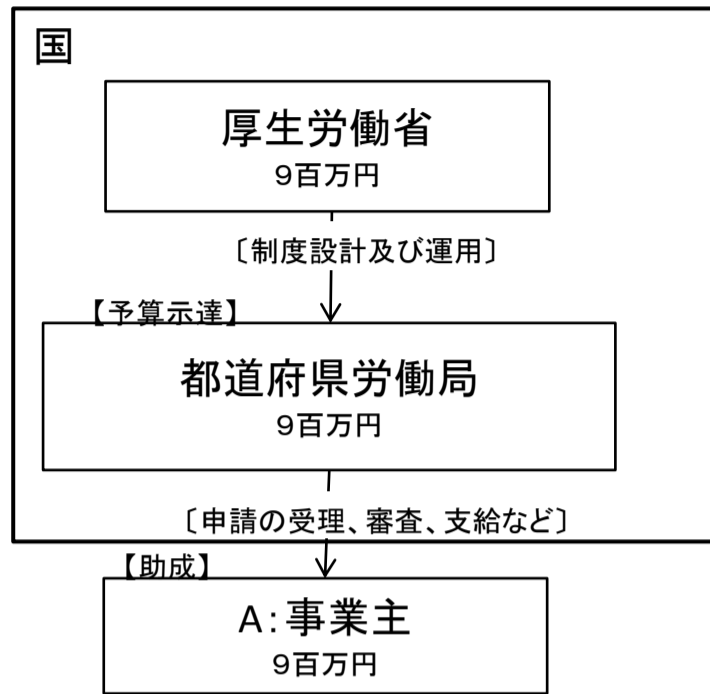
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>		発達障害者雇用開発助成金		担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成21年度(開始)・終了年度未定		担当課室	地域就労支援室		地域就労支援室長		
会計区分		労働保険特別会計雇用勘定		施策名	Ⅱ-1-3 高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		雇用保険法第62条第1項第5号 雇用保険法施行規則第118条の3第1項 同条第2項及び同条第3項		関係する計画、通知等	新成長戦略実現に向けた3段階構えの経済対策(平成22年9月10日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		発達障害者を新たに雇い入れ、雇用管理上の課題、配慮事項等を把握・報告する事業主に対し助成を行うことにより、発達障害者の雇用機会を増大するとともに雇用管理に関するノウハウを蓄積し、もって発達障害者等の雇用の促進及び職業の安定を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		発達障害者を新たに雇い入れ、雇用管理に関する事項を把握し報告する事業主に対する助成を行う。支給額は、大企業の場合50万円(短時間労働者は30万円)、中小企業の場合135万円(短時間労働者の場合90万円)となる。							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算		64	156	59	58	
			補正予算						
			繰越し等						
			計		64	156	59	58	
		執行額		1	9				
執行率(%)		1.6%	6.0%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
		雇入れられた労働者のうち6カ月継続雇用された労働者の割合		成果実績		-	67%	50%	60%
				達成度	%	-	134%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		対象労働者の雇入れ件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	15	36 (70)	- (70)
単位当たりコスト		0.25(百万円/支給決定件数)		算出根拠	0.25(百万円)=9(百万円)/36(件) ※9(百万円):支給実績額、36(件):雇入れ件数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	助成金	59	58	支給対象人員の減					
	計	59	58						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	対象労働者の雇入れ件数については、見込みを下回ったが、労働局等に対しその活用について一層の周知を図ってきたほか、支給要件の緩和を行ったところでもあり、今後実績の増加が期待される。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○本助成金を活用して就職した者のうち、雇入れから6カ月継続雇用された労働者の割合については50%(H22年度)となっており、本助成金を活用して就職した者の安定した雇用が図られているといえる。</p> <p>○対象労働者の雇入れ件数については、見込みを下回ったが、労働局等に対しその活用について一層の周知を図ってきたほか、平成22年の経済対策により、支給要件の緩和を行ったところでもあり、今後実績の増加が期待される。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>発達障害者雇用開発助成金は、執行状況を予算要求に反映すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>実績を踏まえ対象人数減による縮減(▲0.5百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※金額は平成22年度実績



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.事業主			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
助成金	事業主に対する助成金	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0